



# 次郎法師と直虎、そして直政。

## 「井伊家伝記」を読む

2017年のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」で主人公として描かれているのは、井伊直虎（次郎法師）という人物です。

戦国時代の井伊氏は、遠江国引佐郡井伊谷（現・静岡県浜松市北区引佐町井伊谷）周辺の領主で、戦国大名・今川氏の配下にあった「国衆」と呼ばれる立場の小勢力でした。その中でも直虎は、井伊家の歴史の中でもあまり注目されることはありませんでした。

政の父が今川家によって殺害された後、（跡を継ぐはずの）直政がまだ幼かったため、次郎法師は「地頭職」、つまり井伊氏領の領主になったと記されています。

では「井伊家伝記」は、筆者の祖山が龍潭寺と井伊家との密接な関係を主張するために作成したもので、内容については検討を要する必要があると指摘されています。

なぜならば、「直虎」または「次郎法師」に関わる直接的な史料は、全国でも10点程度とごくわずかしか存在しないからです。

次郎法師について、最も詳しい情報を有するのが「井伊家伝記」という書物です。これは、時代は下って江戸時代の享保15年（1730）に成立したもので、著者は井伊谷龍潭寺（現・静岡県浜松市）の住職・祖山です。

ただし、「井伊家伝記」は直虎（次郎法師）が没したとされる年代より150年後の史料であり、戦国時代当時の史料ではないため、その内容をそのまま信用するわけにはいきません。また、近年の研究

このように断片的に残る戦国時代の史料から、当時の井伊家の人物と

して見つかると「次郎法師」と「直虎」は、同一人物であると従来考えられてきました。

同書では次郎法師について、「井伊信濃守直盛公息女次郎法師道世の事」の箇所に詳しく記されています（写真）。

写真の作品は、彦根城博物館特別展「戦国！井伊直虎から直政へ」で、11月28日（火）まで展示します。（期間中無休）

10月21日（土）～11月28日（火）  
国宝・彦根城築城410年祭関連事業

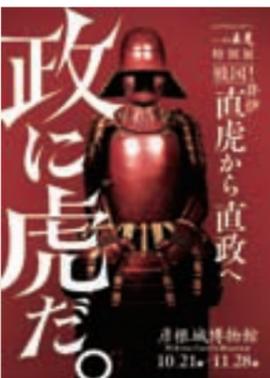
2017年NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」特別展

# 「戦国！井伊直虎から直政へ」

戦国時代、男の名で家督を継いだ井伊直虎の波瀾に満ちた生涯を軸に、駿河の今川、甲斐の武田、尾張の織田、三河の徳川らの大国に囲まれた遠江の領主・井伊氏が、繰り返される謀略や戦いの中でいかに乱世を生き延びたのか、同時代に生きた戦国武将や周辺の人物を通して浮き彫りにします。

また、直虎に養育され、徳川家康の家臣となった井伊直政は、小牧・長久手の戦いや関ヶ原の戦いなどで武功をあげ、のちに「徳川四天王」と称されるほど、家康の天下統一事業に重要な役割を果たしました。直政の彦根藩井伊家創設に至る道程を、井伊家に受け継がれた貴重な美術品・古文書などから紹介します。

- 第1章 動乱を超えて ～東海の戦国大名と井伊氏～
- 第2章 遠江の雄 ～井伊谷の領主として～
- 第3章 徳川家康と四天王
- 第4章 遠江から近江へ ～直政、彦根藩創設への道程～



▲孔雀尾尾足くしゃくおへん陣羽織  
長岡市与板歴史民俗資料館



▲青葉の笛 寺野六所神社



▲世継(よつぎ)観音像  
井伊谷・龍潭寺



▲井伊直虎・関口氏経(うじつね)連署状(れんしよじょう)蜂前神社所蔵、  
浜松市博物館保管 ※展示期間:10月21日(土)～11月9日(休)

場所・問い合わせ先 彦根城博物館 ☎ 22-6100、FAX22-6520、ホームページ <http://hikone-castle-museum.jp/>  
開館時間 8:30～17:00 (入館は16:30まで)  
観覧料 一般500円、小・中学生250円  
休館日のお知らせ 11月29日(水)～12月7日(休)

## 湖東定住自立圏(彦根市と愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町との広域連携)の具体的な取り組み

### 休日急病診療所の運営と救急医療体制の充実

休日急病診療所(日曜日、祝日、年末年始)は、1次救急の医療機関として軽度の症状の患者を対象に内科・小児科の診療を行っています。重症の恐れや検査・入院が必要な場合は、同敷地内の市立病院を紹介するなど医療連携を図っています。また、小児救急では市立病院が救急体制をとっています。

### 周産期医療体制の確立

市立病院では、湖東保健医療圏の中核病院として、ハイリスク分娩にも対応できるように産科を強化しています。

### 消防・救急業務

消防では火災や救助などへの消防体制の強化を図り、より安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

### 問い合わせ先

両健康推進課 ☎ 24・0816番、FAX24・5870番